

自立活動だより



令和4年度 県立鹿児島聾学校
第1号

3つの側面で成り立つ『自立活動』

理念としての『自立活動』

キーワード

学習上・生活上の困難を改善克服



県内唯一の聴覚障害教育の特別支援学校

教育活動全体で取り組む

- 個別の指導計画作成(PDCA)
- 全ての授業と「時間における指導」
- 自活専任と担任との連携

授業(時間割)としての『自立活動』

キーワード

時間における指導, あひるの教室,
聴力測定, 発音明瞭度検査,

指導内容区分

聴覚管理, 聴覚活用, 発音・発語,
言語, コミュニケーション, 障害認識,
心理的安定, 人間関係の形成など

業務としての『自立活動』

- 集団補聴システム等の管理
 - 聴測室, 機器類の管理
 - 新任者研修
 - 自活だよりの発行
 - 聴覚相談センターとの連携(兼務)
- コーディネーター, 巡回相談, きこえの相談, 聴覚障害教育研修など
- その他

授業としての『自立活動』

～時間割にある自立活動って何?～

聾学校では, 時間割に自立活動(幼稚部では, 「あひるの時間」と呼んでいます)が設定されています。本人・保護者の願いを聞いたり, 今, 取り組まなければならない必要な本人の課題を考えたりしながら, 自立活動担当(専任)を中心に授業を担当しています。1年間よろしくお願ひします。

具体的な指導内容は, 「聴覚管理」「聴覚活用」「発音・発語」「言語」「コミュニケーション」「障害認識」「心理的安定」「人間関係の形成」など多岐に渡りますが, 幼児児童生徒の実態や成長段階に合わせて取り組んでいます。

ほちょうき じんこうないじ かんり
補聴器・人工内耳の管理について

きこえの様子がいつもと違うときや補聴器・人工内耳の状態が気になるときは、すぐに自立活動担当や担任の先生方にお知らせください。「きこえ」を常によい状態に保つようにしましょう。

ほちょうきぎょうしゃ らいこうび
＜補聴器業者さんの来校日＞

じかん 時間 13:20～ (用件のある時だけ来校)

こうでん か ごしま 光電鹿児島	かようび 火曜日	こだま しげゆき 児玉 重幸さん
か ごしま ほちょうき 鹿児島補聴器	もくようび 木曜日	いがくらごうすけ 井ヶ倉豪介さん
りネットセツパ-鹿児島	よやくをうけてから日時決定をします。	

ぎょうむ じりつかつどう えん した ちから も
業務としての『自立活動』～縁の下の力持ちになりたい～

我々、自立活動担当(専任)は、本校に通う幼児児童生徒が、保護者の皆様が、先生方が、学習や生活の上で困っていることや課題解決のためにいつでも力になれるように機器の管理や情報提供や収集に努めています。新任の先生方に向けた研修会の開催や自活だよりの発行なども行っています。また、聴覚相談センターの一員として、地域の聴覚障害児のために、来所相談(きこえの相談)、巡回相談(地域の学校関係者との連携相談)等に努めています。

たいせつ つか ろじゃーシステム
大切に、でも、どんどん使ってほしい！！～ロジャーシステム～

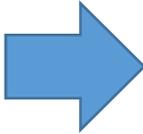
本校では、補聴器装用児のために、話者と距離があったり、騒音があったり、反響する場でマイクを使って聞き取りを阻害する要因(距離・騒音・反響音)を克服するために集団補聴システム『ロジャーシステム』を導入しています。

高価なものですが、どんどん使って、聴覚活用してほしいと思います。でも、大切にしてくださいね。

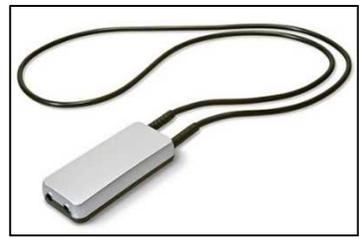
そうしん
送信



ロジャーインスパイロ
話し手(教師)が装着して、話す言葉が機械を通して、ダイレクトに届けます。



じゆしん
受信



ロジャーマイリンク
補聴器装用児が首からぶら下げることで、インスパイロから発信された音を経由し、補聴器に音を届けます。